



2020年7月30日

各 位

ハウスコム株式会社  
 代表取締役社長 田村 穂  
 (東証第一部 コード番号: 3275)  
 問合せ先 経営企画室長 瀬戸 聖治  
 電 話 03-6717-6939

## 2021年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月8日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

## 記

## 1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期 第2四半期 (累計) 連結業績予想 (2020年4月1日~2020年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 連結四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	5,626	△ 169	△ 150	△ 163	△ 21.12
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期 第2四半期)	5,966	134	136	77	10.09

(2) 2021年3月期 通期連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	13,291	1,161	1,339	906	117.34
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	13,015	1,017	1,183	673	87.24

## 2. 連結業績予想の理由

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の期間や社会経済情勢への影響が不透明であり、合理的な算定が困難なため未定としておりました。この度、緊急事態宣言の解除の後、社会活動・経済活動が回復に向けての動きを示していること等を受け、現時点で入手可能な情報や予測等に基づいて当社グループの連結業績予想を策定し、公表することといたしました。

連結業績予想の策定においては、当第1四半期連結累計期間の実績をもとに、今後の市場の回復ペースについて仮定をおいて算定しております。具体的には、当社グループの主力である不動産賃貸仲介において、実績として仲介件数の前年同月比は、4月度は約23%減、5月度は約30%減となり底を打ち、6月度は約4%減と急速な回復傾向を示し、第1四半期全体では約19%減の14,182件となりました。この回復状況をもとに、仲介件数が第2四半期会計期間は前年同期比約3%減、下半期は前第4四半期に新型コロナウイルス感染症による減収が大きかったことを勘案して約10%増になることを仮定し、関連する他の収入や費用見積り等の要素を合わせて、第2四半期及び通期の連結業績予想を作成しております。

### ※将来に関する記述等についてのご注意

上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

## 3. 配当予想について

### (1) 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (2020年5月8日公表)	—	—	—
今回修正予想 (2020年7月30日予想)	18.00	18.00	36.00
前期実績 (2020年3月期)	18.00	18.00	36.00

### (2) 配当予想の理由

業績予想が困難であることから未定としておりましたが、上記業績予想に基づき、配当予想を公表いたします。

当社の配当政策の基本方針としては、株主への利益還元と内部留保充実のバランスを総合的に判断し、業績と市場動向の状況に応じて、継続的かつ安定的に利益配分する方針であります。具体的には、各期の経営成績の状況等を勘案して、配当性向30%を基本方針として、株主への利益還元を行うこととしています。

今期につきましては、上記方針にもとづいて、中間配当金として1株当たり18円、期末配当金として1株当たり18円、連結配当性向30.7%を予定しております。

以 上